

会 議 録

1 会議名

平成30年度第2回保倉区地域協議会

2 議題

【協議事項】

(1) 自主的審議事項について（公開）

(2) 地域活動支援事業の検証について（非公開）

3 開催日時

平成30年7月30日（月）午後6時00分から午後7時09分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

議題（2）については、「意思形成過程の事項」を審議するため非公開とします。

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 宮川和市（会長）、吉川善一（副会長）、池田つえ子、大堀幸子、
佐野和明、中島 厚、丸山隆夫、山岸 功、吉田一枝、渡邊良禎
（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任

8 発言の内容

(1) 開会

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

(2) 会長あいさつ

【宮川会長】

- ・挨拶

・会議録の確認：佐野委員、山岸委員に依頼

(3) 議題 【協議事項】(1) 自主的審議事項について

【千田主任】

保倉区では地域の活性化や地域課題について、協議会内や町内会長連絡協議会と意見交換を行ったが、現在、自主的審議事項として掲げている案件はない。

本日は、資料No.1の各区の自主的審議事項の取組状況を参考にいただき、地域協議会として協議していきたい地域課題があれば御意見をいただきたい。

【宮川会長】

自主的審議について、皆さんから御意見をいただきたい。

【渡邊委員】

私たちは地域協議会の本来の姿とは何かということ、しっかりと認識する必要があると思っている。私は長年、地域協議会委員を務めているが、毎年地域活動支援事業の採択審議で終わっている。これが地域協議会の本来の姿とは思っていない。もちろん、地域活動支援事業の補助金の使途について審議することも大事だが、保倉区にどういう問題があるのか、問題についてどのようにアプローチしていくのかを考えていくことが地域協議会の大事な役割の一つだと思う。

そして、恥ずかしいことだが、資料No.1で保倉区の自主的審議事項は「検討中」となっている。「検討中」というのは怠けていて何もしなかったという裏返しである。各地区を見ても地域の問題点を指摘している。自主的審議が何もないというのは地域協議会の意味がないのではないか。

解決できるかどうかは別問題だが、保倉区にどのような問題があり、それに対し、どのように取り組んでいく必要があるのかを提案していくことは、大事だと思っている。

他区の自主的審議事項を見ると「人口減少」、「地域の過疎化」等について取り上げているが、保倉区にも同じような課題があるのではないか。自分が住んでいる町内を考えた時、人口減少や過疎化について実感している。結論や具体的な方法を出すのではなく、どういう問題点があって、保倉区としてどのように考えていかななくてはいけないのかを話し合う場を設けていただきたい。

【宮川会長】

確かに渡邊委員の言うとおりで。全国どこでも同じような課題を抱えており、保倉区も例外ではない。委員の皆さんから個々に考えていただき、課題と対応方法につい

て、地域協議会として考えていきたいと思う。

【渡邊委員】

「こういう課題がある」という意見だけでも良い。何も行わないで終わりでは、やる気のない話である。

【宮川会長】

人口減少等の問題はどこの地域にもあると思うが、それらも踏まえて当区では定住化対策に取り組んできている。当初の目的に対してはある程度達成したため、次の段階へ進めるために保倉地区振興協議会の活動の一環として、今後は進めてもらいたいと思っている。

そして、小学校の統合問題等については行政が動き出している。小学校の子ども達だけではなく、自治区も含めて区割りを見直し、検討しているとのことである。

【滝澤センター長】

先ほど、渡邊委員から御意見をいただいたが、地域協議会は地域の課題を話し合っただけの場となっている。地域活動支援事業の採択審議もしていただいているが、それも地域課題の解決に向けた一つの手段として皆さんから審査していただいている。

平成28年度には地域課題について検討するため、各町内会長との意見交換会を行った。

現在、保倉区の自主的審議事項は検討中となっているが、皆さんからいろいろな意見を出していただき、自主的審議につなげていただければと思っている。

自主的審議の進め方としては、委員個人が考えている課題を事務局へ出していただき、協議会の場で保倉区の自主的審議事項として審議を進めていくかどうかを諮ることになっている。本日、すぐに課題が出てこないかもしれないため、後ほど事務局に提案していただいても結構である。

事務局としては、全国的な問題である「人口減少」や「少子高齢化」等は、大きな問題であり、課題解決には結びつきにくい面があると考えている。他区の自主的審議事項を見てみると、具体的な課題を挙げている区もある。そういう事項であれば、協議も進めやすいと思うため、参考にしていきたい。

市の担当課から現状を聞くこともできるし、最終的には市に対し、意見書を提出することもできる。地域内で話し合いを行い、地域で解決していただくことが目的となっているので何かあれば事務局へ出していただき、皆さんで協議いただきたい。

【渡邊委員】

事務局の説明を受け、2点お聞きしたいことがある。

1点目は、上越市第6次総合計画である。内容は承知しており、保倉区として受け止め、あるべき姿をしっかりと捉えなくてはいけない。

先般、市長の「第6次総合計画の中で一部修正も必要である」という発言が記事に載っていた。市長は市民と意見交換を行い、いろいろな意見を聞きたいということだったが、第6次総合計画内で、どの部分のことを指しているのか具体的に聞きたい。

2点目は、皆さんがどのように考えているのか聞きたいのだが、保倉区は農村地帯だと思うか。私は農村地帯だとは思っておらず、農業生産地だと思っている。農村地帯というのは、その地で農業を営む人たちが集まって一つの集落を作ることである。だが、現在の保倉区では、ほとんどの人たちが農業に従事しておらず、従事している家は十数軒しかないのが実状である。それでも行政的には、保倉区は農村地帯と一括されている。その中で我々が生活をしていて、どのような不便があるのか、今後の将来性について地域全体でよく考えていかなくてはいけない。

医療や交通はどうなるのか。保倉区は中学生、高校生が通学するにも不便である。高齢者は運転免許証を返納しなくてはならないが、医療機関へはバス等を利用しなくては通えない。買い物に行くにも非常に不便である。

そして私は、「広報上越」に掲載されている人口と世帯数のデータを見ているが、上越市の人口は確実に減少してきている。だが、世帯数は増えている。つまり、それだけ若い世代は実家を出て新たに家を建てているということである。親世代の一人世帯が多くなっていき、その人が亡くなったら、その世帯は誰もいなくなり、世帯数が減少していく。最終的に町内がなくなってしまう。今は世帯数が増えているから危機感はないが、世帯数が減り始めたら致命的である。保倉区のような地域では、家はどんどん減っていく。定住者どころではない。空き家になった家も、どんなに安価で売ったとしても買い手がない。町場へ行けば、土地付きの家が安く買えるからである。保倉区で家を建ててもインフラ整備に費用が掛かり、かえって町場より高くなってしまう。

私は人口を増やすことではなく、今の人口をどのように維持していくかが大事だと考えている。地域協議会委員は各町内から選出されているため、1人ずつ現状を聞いたほうがいいのではないかと。

このような実態があるのに、自主的に審議することが何もないでは済まない。実状を

皆さんと話し合う必要があると思っている。いろいろな知恵をいろいろなところから集めて保倉区をどのようにしていくかを考えていかないか。

【宮川会長】

出していただいた意見を基に各委員が思っている課題を1人1つ以上、持ち寄っていただくのはどうか。

【佐野委員】

当地域協議会で議論している内容を若い世代の方々は全く知らないと思う。地域の今後を考えるにあたり、若い人たちの意見も取り入れたら良いのではないか。

資料No.1を見ると、消防団のあり方について協議している区もある。人口減少に伴い、消防団の人数も減ってきている。限られた人数で仕事を割り当てられるので消防団に入っていると防犯委員等も兼務し、仕事量も増えてくる。

若い世代からも意見を聞ける場があれば良いと思っている。

【滝澤センター長】

他区でいろいろな自主的審議が出ているが、その前段で若い世代や女性の方々と意見交換を行っている区もある。

意見交換会を行った後で自主的審議とするか決める場合、自主的審議事項として取り扱うことを決めてから、関係する方々と意見交換をする場合等、進め方は自由である。

【宮川会長】

幅広い世代から意見をいただければ、別の考え方が出てくるかもしれない。諸々の意見の中から地域協議会として意見を絞り、審議していくのも良いのではないか。

【渡邊委員】

消防団等から、ただ漠然と意見を聞いても、意見が出ないのではないか。まずは、地域協議会で問題点を絞り、「こんな問題があるが、どう思うか」という投げ掛けをし、意見を吸い上げたほうが良いと思う。

そして小学校の統合問題だが、私としては保倉小学校がなくなってしまうと地域が衰退するのではないかとと思っているが、他区の小学校との統合の話が出た場合、出遅れて時期を逃してしまうと、子ども達に悪い影響があるかもしれない。

保倉区を存続させるためには、いろいろな問題があると思っている。しっかりと対策していかなくてはならない。

【宮川委員】

それでは、各委員が考えている課題を後日、提出いただきたいと思いますどうか。

【滝澤センター長】

自主的審議事項を提案するための様式があるので、それに記載して提出していただきたい。

【山岸委員】

町内の課題等は町内会長がある程度把握していると思う。私は昨年度まで駒林の町内会長を務めていた。保倉区地域協議会の委員でもあるため、町内会長として得た情報を地域協議会へも情報提供しようと思っていたが、町内会長を辞めてしまったら全く情報が入ってこない。

駒林町内会では町内のいろいろな情報や行事を載せた会報を作成し「広報上越」と一緒に町内会へ配付していた。子どもがいない家庭は、子どもが何をしているかよく分からないため、学校行事や入学式・卒業式の日程を会報に記載し、町内に回していた。

地域協議会は保倉区全体のことなので、情報がなければ住民の皆さんへ発信することができない。

資料No.1の保倉区の「検討中」は確かに恥ずかしい。資料を出すなら1か月くらい前から皆さんで協議して検討していけば良かったのではないか。

【吉川副会長】

保倉区には小さな子どもが遊ぶような場所が全くなく、車で移動しないといけない。今日、協議会へ来て思ったのが、当公民館の横に広い敷地がある。自転車でも来られる場所なので、すべり台を1台でも良いので設置してもらえるよう提案だけでもしてはどうかと感じた。

そして、以前、早津委員が提案した防犯カメラの件である。新潟市で悲惨な事件も起きているので、保倉区でも設置する方向で進めてみてはどうか。

【宮川会長】

遊具の設置の件だが、以前、各町内に遊具を設置してはどうかという話があった。だが、遊具を設置してケガをしたら誰が責任を持つのかと言うばかりで先に進まなかった。

【吉川副会長】

誰かが責任を取るのではなく、自己責任で良いのではないか。小さな子は一人で来るわけではない。そういう考え方でいかないと何もできなくなる。

【渡邊委員】

品物を買うことも大事だが、保倉区として市へお願いしたり、市と一緒に改善策を考えたり、具体的なことをしていかななくてはいけないと思っている。

例えば、町内会長の話があったが、町内に住んでいれば町内会長でなくても町内のことは分かると思う。町内に住んでいて気付いたことを率直に話せば良いのではないか。

【山岸委員】

だが、町内会長を辞めるとやはり情報は少なくなる。なので、町内会長協議会の際に傍聴でも良いので出席させてもらってはどうか。聞くだけでも違うと思う。

【渡邊委員】

町内会長は会議で話し合ったことを町内に伝えなくてはいけないのではないか。会議で話し合ったことを町内に周知するのが、町内会長の仕事である。

【山岸委員】

保倉地区振興協議会内で保倉のまちづくりをしたいという提案があり、来年の4月1日から始動しようということで検討を進めている。北諏訪区は自主的審議事項で「地域支え合い事業」について取り上げているが、保倉区でも4月1日から始めなくてはいけない。これからはお年寄りが増えてくる時代なので病院や買い物に行きたい時はどうしたら良いのか。

先の問題を今から皆で考え、今後について話し合いをしていきたいと思っている。

それから、防災士の問題がある。行政から「各区に支部を作ってください」という連絡が来ているので、秋以降に支部を立ち上げたいと思っている。

【吉川副会長】

保倉支部は作っていないのか。

【山岸委員】

まだ作っていない。

【宮川会長】

保倉区に防災士は何人いるのか。

【山岸委員】

8人くらいである。

【佐野委員】

防災士の免許を取ってくれないかと声を掛けられる人たちが限られている。ある程度平等に声掛けをしていただきたい。

【宮川会長】

では、先ほどから申し上げているとおり、各委員が思っている課題を様式に記入し、事務局へ提出いただきたい。

【協議事項】（２）地域活動支援事業の検証について

非公開

（４）その他

【宮川会長】

次回の協議会の日程について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

自主的審議の提案書の様式を皆さんへ送付し、提出いただいた意見を集約してから次回の協議会を開催したいと考えている。

日程については会長・副会長と相談し御案内させていただく。

【吉川副会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。